

ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2002年8月27日

気温は全州で上昇し略平年並となり、収穫作業が順調に進展した。平均農作業可能数は5.7日であった。全州でおよそ47%の硬質春小麦が収穫された(昨年：68%、平年：60%)。

デュラム小麦は、94%がTurning(昨年同期：97%、平年：91%)にあり、収穫完了は16%であり(昨年：37%、平年同期：330%)平年より遅れている。

8月1日付けUSDAの春小麦(デュラム小麦を除く)収穫予想では、単位収量は29.0bu/ac(7月1日：31.0、昨年：34.0bu/ac)と7月1日の予想より悪くなった。収穫予想面積6,800,000エーカー(昨年：6,900千エーカー)、収穫量：197,200千ブッシェル(昨年：234,600千Bu)となっている。デュラム小麦の8月1日予想は、単収25.0bu/ac(昨年：26.0bu/ac)、収穫量予想は48,750千ブッシェル(昨年：54,600千Bu)である。

2002年8月25日現在

土壌水分：

Topsoil

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	15	35	47	3
Last week (%)	16	32	49	3
Last year (%)	7	25	65	3
5-yr. Ave. (%)	9	26	60	5

Subsoil

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	17	34	47	2
Last week (%)	17	32	49	2
Last year (%)	4	16	73	7
5-yr. Ave. (%)	7	23	64	6

小麦作柄：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Spring wheat (%)	12	16	35	35	2
Durum wheat (%)	5	12	50	33	0

小麦生育状況：次ページ

ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2002年8月27日（続）

2002年8月25日現在：

小麦生育状況：

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
Spring wheat Combined (%)	47	35	68	60
Durum wheat Turning (%)	94	82	97	91
Combined (%)	16	10	37	30

Source: North Dakota Agricultural Statistics Service

収穫が進んでいる州東南地区の硬質春小麦の品質は、昨年より蛋白質が高目、容積重も昨年を上回るとの報告が有る。フォーリングナンバーは同地区では低い物もあり、平均323（昨年：377）と成っている。